

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	流域浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	流域下水道に接続している地域(熊毛地 域)	事業の目的 (意図)	流域下水道を利用する地域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	周南流域下水道接続点(5箇所)の水質調査を行い、県に報告する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値			
				実績値			
				達成度(%)			

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	1,571	1,458	1,863	1,971	1,971
(予算額)	うち一財	千円	1,571	1,458	1,863	1,971	1,971
直接事業費	千円	842	1,458		対28年度増減理由	対29年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	842	1,458			
正職員人件費	千円	1,479	2,222				
人工数	人	0.20	0.30				
支出コスト	千円	決) 2,321	決) 3,680				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	山口県流域下水道維持管理要綱に基づき、周南流域下水道 接続点(5箇所)で年1回水質調査を実施し、県に報告をしてい る。	課題・ 問題点	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 調査頻度、調査項目が妥当なのか県と協議する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由
	事務事業 の方向性	必要性について、県と協議していく必要がある。	評価 責任者 コメント	市内熊毛地区の「周南処理区」は、現在「周南流域関連公共下水道」と して、周南流域公共下水道に接続して山口県が管理する処理場において処 理してもらっている。この流域下水道には本市のほか、光市、岩国市が参 加しており、今後も「公衆衛生の向上」や「公共水域の水質の保全」そして 「住民の安心・安全」の観点などから、水質調査を定期的実施していくこ と。 調査頻度、調査項目等に懸念がある場合は、県の担当部局と早急に協 議を行うこと。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)	人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等
①	流域浄化センター水質調査分 析業務	周南流域下水道接続点(5箇 所)の水質調査を行う。	周南流域下水道へ異常水の流入がない か調査を行う。	1,458 可	0.30	0.00
②						
③						
④						
⑤						

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	下水道水質指導監督費			
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市の公共用水域	事業の目的 (意図)	事業場からの排水を監視することで、公共用水域の環境保全に寄与する。
事業の内容 (手段)	特定事業場からの流入水について監視指導を行う。(徳山・新南陽・熊毛地域延べ89箇所・398項目)		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					特定事業場排水基準遵守事 業場数	特定事業場排水の調査を実 施した結果、排水基準を遵守 した事業場数	事業場
				実績値	74.0	78.0	
				達成度(%)	77.9%	81.3%	

事業 費	項目		単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
		直接事業費	千円	1,163	1,137	1,367	1,053	1,053
(予算額)	うち一財	千円	1,163	1,137	1,367	1,053	1,053	
	直接事業費	千円	589	1,137		対28年度増減理由	対29年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	589	1,137				
	正職員人件費	千円	1,849	2,592				
	人工数	人	0.25	0.35				
	支出コスト	千円	決) 2,438	決) 3,729				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	徳山・新南陽・熊毛地域の特定事業場からの流入水の調査を 行い、排水基準値を超過した事業場に対して指導を行っている。		課題・ 問題点	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 調査事業場数、調査頻度が妥当か検討を要する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	調査事業場、調査頻度を検討する必要がある。		評価 責任者 コメント	本事業は、「公衆衛生の向上」や「公共用水域の水質の保全」そし て「住民の安心・安全」の観点などから、大変重要な業務である。 疑義がある場合は関係機関等と早急に調整・協議を行い、調査 の実効性を高めること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	事業場排水水質調査	市内特定事業場からの流入水 の調査を行う。	特定事業場からの流入水の監視を行う。	1,137 可		0.35	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	中央浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(徳山中央処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値			
				実績値			
				達成度(%)			

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費 (予算額)	千円	343,799	328,403	342,788	397,492	397,492
	うち一財	千円	343,799	328,403	342,788	397,492	397,492
直接事業費 (決算額)	千円	299,293	328,403		対28年度増減理由	対29年度増減理由	
	うち一財	千円	299,293	328,403		再構築に伴う消化槽 汚泥撤去のため増額	
	正職員人件費	千円	25,883	25,547			
	人工数	人	3.50	3.45			
	支出コスト	千円	決) 325,176	決) 353,950			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	昭和41年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って再構築、長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価 責任者 コメント	「徳山中央浄化センター」については、昭和41年に供用開始して既に50年を経過していることから、「膜分離活性化汚泥法(MBR方式)」などの新技術の導入を検討するなど、スペースの省力化を図る中で、再構築を進めているが、事業費が約124億円と膨大でもあることから、民間活力の導入による「管理(サービス)の向上」と「コスト削減」の両面から、「PFI」について検討を行うこと。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)	人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等
①	中央浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	328,403 可	3.45	0.00
②						
③						
④						
⑤						

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	東部浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(徳山東部処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	190,641	189,910	192,262	200,452	200,452
	(予算額) うち一財	千円	190,641	189,910	192,262	200,452	200,452
	直接事業費	千円	190,641	189,910		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	190,641	189,910		運転維持管理等の労務単価が上がったため増額	
	正職員人件費	千円	10,353	9,627			
人工数	人	1.40	1.30				
支出コスト	千円	決) 200,994	決) 199,537				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始からの推移	平成2年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。	課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価 責任者 コメント	徳山東部浄化センターは、徳山中央浄化センター、新南陽浄化センターとともに、公募型プロポーザルを実施して、民間事業者に対して運転管理等の委託を実施しているが、今後はさらに民間活力を良い形で引き出すため、もう一歩進めて、「性能発注方式」などの導入について検討すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	東部浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	189,910 可		1.30	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	246,959	251,094	258,826	252,832	252,832
	(予算額) うち一財	千円	246,959	251,094	258,826	252,832	252,832
	直接事業費	千円	237,723	251,094		対28年度増減理由 対29年度増減理由	
	(決算額) うち一財	千円	237,723	251,094			
	正職員人件費	千円	23,664	15,921		修繕費の減額に努めた。	
	人工数	人	3.20	2.15			
支出コスト	千円	決) 261,387	決) 267,015				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	昭和54年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。	課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価 責任者 コメント	新南陽浄化センターは、徳山中央浄化センター、徳山東部浄化センターとともに、公募型プロポーザルを実施して、民間事業者に対して運転管理等の委託を実施しているが、今後はさらに民間活力を良い形で引き出すため、もう一步進めて、「性能発注方式」などの導入について検討すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	新南陽浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	251,094 可		2.15	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	北部浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(新南陽北部処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値			
				実績値			
				達成度(%)			

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	15,163	12,774	13,335	12,737	12,737
	(予算額) うち一財	千円	15,163	12,774	13,335	12,737	12,737
	直接事業費	千円	13,268	12,774		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	13,268	12,774			
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人	0.00	0.00			
支出コスト	千円	決) 13,268	決) 12,774				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	平成8年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守 するよう運転管理を行っている。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理し ていくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配 慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価 責任者 コメント	新南陽北部浄化センターは、平成8年9月1日に供用開始がなされ、新南陽北部地域における「公衆衛生の向上」と「公共水域の水 室の保全」等に大きく寄与している。 こうした中で、持続的な運営管理を行っていくためには、さらに 「効率的で、低コストな運用」に努めていくことが大切であることか ら、問題や課題がある場合はそれらを放置せず、積極的に取り組む こと。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)	人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等
①	北部浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	12,774 可	0.00	0.00
②						
③						
④						
⑤						

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	鹿野浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(鹿野処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水汚泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値			
				実績値			
				達成度(%)			

事業費	項目		単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	32,912	36,258	34,363	40,701	40,701
		うち一財	千円	32,912	36,258	34,363	40,701	40,701
	(決算額)	直接事業費	千円	29,991	36,258		対28年度増減理由	対29年度増減理由
		うち一財	千円	29,991	36,258		汚泥脱水機整備のため増額	
		正職員人件費	千円	1,109	3,703			
		人工数	人	0.15	0.50			
	支出コスト	千円	決) 31,100	決) 39,961				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	平成11年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価 責任者 コメント	鹿野浄化センターは、平成11年10月26日に供用開始がなされ、鹿野地域における「公衆衛生の向上」と「公共用水域の水室の保全」等に大きく貢献している。 施設も比較的新しく、新技術も導入され、順調に稼働しているが、日頃の維持管理・保守点検(予防保全)を怠ることなく、施設の長寿命化に努めること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	鹿野浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	36,258 可		0.50	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市民務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	農業集落排水施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(須々万、高瀬、八代処理区 内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業費	項目		単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	75,310	76,555	79,541	70,960	70,960
		うち一財	千円	75,310	76,555	79,541	70,960	70,960
	(決算額)	直接事業費	千円	69,876	76,555		対28年度増減理由	対29年度増減理由
		うち一財	千円	69,876	76,555		須々万地区の処理場 統合及びし渣処分先 見直しのため委託料 が減額	
		正職員人件費	千円	7,395	2,962			
		人工数	人	1.00	0.40			
	支出コスト	千円	決) 77,271	決) 79,517				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	須々万市は昭和63年に、須々万中央は平成12年に、高瀬は平成12年に、八代は平成18年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価 責任者 コメント	農業集落排水施設である須々万地区の市(いち)と山手地区の浄化センターについては、このたび機能統合が図られることになったとともに、その他の高瀬、八代の浄化センターは供用開始してから、それほどの年数が経過していない状況になる。これら施設は市民生活にとって欠かせない施設であることから、予防保全に努め長寿命化を図ることでコスト削減を達成していく中で、地域に貢献していくことが大切である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
須々万地区の2処理場を統合することにより、維持管理費が削減された。また、し渣の処分先を見直したことにより、委託料が削減された。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	農業集落排水施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	76,555 可		0.40	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	江口ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(徳山中央処理区内)	事業の目的 (意図)	ポンプ場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	19,301	18,041	19,949	16,113	16,113
	(予算額) うち一財	千円	19,301	18,041	19,949	16,113	16,113
	直接事業費	千円	14,662	18,041		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	14,662	18,041		(株)クヤマからの電力料金単価が下がったため減額	
	正職員人件費	千円	3,698	2,222			
	人工数	人	0.50	0.30			
支出コスト	千円	決) 18,360	決) 20,263				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	合流部分は昭和49年に、分流部分は昭和60年に供用開始し、徳山中央浄化センターに送水している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価責任者コメント	現在、江口ポンプ場については平成24年度から合流系の再構築に取組んでいるが、ポンプ場の機能が十分発揮できるよう、分流系の再構築も計画的に進めること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	江口ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	18,041	可	0.30	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽汚水中継ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的 (意図)	ポンプ場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費 (予算額)	千円	20,829	17,815	18,011	18,176	18,176
	うち一財	千円	20,829	17,815	18,011	18,176	18,176
直接事業費 (決算額)	千円	18,743	17,815		対28年度増減理由	対29年度増減理由	
	うち一財	千円	18,743	17,815			
	正職員人件費	千円	3,698	0			
	人工数	人	0.50	0.00			
	支出コスト	千円	決) 22,441	決) 17,815			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	古開作は昭和57年に、福川は昭和60年に供用開始し、新南陽浄化センターに送水している。	課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した維持管理を行っていく必要がある。	評価 責任者 コメント	汚水ポンプ場は汚水を適正に処理していく上で大切な補完施設である。 ポンプ場がストップがすることがないよう、維持管理・保守に努めるとともに、設置してからかなりの年数が経過していることから、計画的に再構築を進めること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	新南陽汚水中継ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	17,815 可		0.00	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽雨水ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	小林健二	評価責任者 (部長)	藤田真治

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600507	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(7)雨水排除施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的 (意図)	雨水等による農地、宅地への冠水を防ぎ、市民の財産を保護する。
事業の内容 (手段)	施設の保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値			
				実績値			
				達成度(%)			

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費 (予算額)	千円	54,190	48,864	47,593	48,696	48,696
	うち一財	千円	54,190	48,864	47,593	48,696	48,696
直接事業費 (決算額)	千円	48,633	48,864		対28年度増減理由	対29年度増減理由	
	うち一財	千円	48,633	48,864		廃棄物運搬処分費の 単価上昇及びA重油 単価の上昇のため増 額	
	正職員人件費	千円	740	370			
	人工数	人	0.10	0.05			
	支出コスト	千円	決) 49,373	決) 49,234			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	野村開作は昭和55年に、福川は平成7年に、新地は平成23年に供用開始し、雨水排水を行っている。	課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した維持管理を行っていく必要がある。	評価 責任者 コメント	雨水ポンプ場は近年、頻繁に発生する集中豪雨やゲリラ豪雨の浸水被害から、人命や家屋などを護るための重要な施設である。これらの施設については「雨水公費の原則」から、維持管理や改築費用は財政状況が厳しい一般会計での負担となるが、市民の安心・安全を図る上から、改築等が必要な場合は市長部局(財政サイド)と調整の上、早急に取り掛かること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽雨水ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	48,864 可	0.05	0.00	
②							
③							
④							
⑤							